

やさしい日本語のポイント

「ハサミの法則」を使うと伝わりやすくなります！

④はっきり言う

□をちゃんとあけて話しましょう。ゆっくりすぎると分かりにくいです。

⑤いごまで言う

「それはちょっと…」のような中途半端な話し方は、相手が戸惑います。

⑥じかく言う

これが一番大事です。一文が長すぎると、内容が伝わりにくくなります。

こんなポイントもあります！

・簡単な言葉を使う(和語を使う)

避難→にげる

・漢字にはふりがなを振る

漢字は読み方で意味が変わる場合があるので、ふりがなを振りましょう。

参考文献：吉開章「入門・やさしい日本語 外国人と日本語で話そう」アスク出版

やさしい日本語 まちさんぽツアー

やさしい日本語まちさんぽツアーは、3年前に「ひろがるやさしい日本語の世界」と題する講演会を皮切りに、ツアーガイド養成講座を開催したところからスタートしました。ツアーガイドの皆さんは、やさしい日本語を使って在住外国人と一緒に散歩しながら、市内の史跡やまちの魅力を知り、やすく伝える役割を担っています。現在は12人が登録し、毎月1回、にほんごカフェを開催して外国人と交流したり、年に2回、市内の見どころをやさしい日本語で外国人

人に紹介したりする活動をしています。市には、江戸時代の宿場町として栄えた大井宿、新河岸川舟運で栄えた船問屋福田屋の建物を公開している福岡河岸記念館や、昭和12年に和洋折衷の庁舎として建てられた旧大井村役場など、多くの文化財や魅力的な場所があります。「市内の見どころを外国人を含め、より多くの人に知ってもらいたい。多様な人の交流を進めたい」という思いから、ツアーガイド養成講座を開催し、市内の見どころを外国人を含め、より多くの人に知ってもらいたい。多様な人の交流を進めたい。ツアーガイド養成講座を開催し、市内の見どころを外国人を含め、より多くの人に知ってもらいたい。多様な人の交流を進めたい。



日本人ツアーガイドにお話を聞きました

外国人の技能実習生と受け入れ先企業を監査・指導する監理団体に勤務しています。年齢や仕事に関係なく、誰もがやさしい日本語を身に付けた方がよいと考えています。やさしい日本語で話すときにいろいろ心掛けていますが、一番忘れてはいけないと思うことは、同じ人間として接するという事です。人間同士相手を知りたい、伝えたいと思えばお互い片言でも通じ合えるものです。人間的な興味・関心。そこは常に大事にしています。



小田 賢治さん

日本語を教えるボランティアをしていて、やさしい日本語は知っていましたが、市民参画でやさしい日本語の取り組みをするのはあまり聞いたことがなく、ツアーガイド養成講座に関心を持ったことが参加のきっかけです。ボランティアだと日本語を一方的に教えることはできませんが、うまくいったと思う時もダメだったと思う時もあります。このツアーはみんながアイデアを出しあって、それが結局自分も楽しいし、参加した人も楽しんでいるのかなと思います。



水野 毅さん

10年前に市内に転居してきて、自分自身がふじみ野市のことを知りたい、友達を作りたい、海外の人とも知り合いになりたいという思いからツアーガイド養成講座に参加しました。ツアーでは、日本語のレベルが異なるさまざまな人が参加するので、どういう企画に関心を持ってももらえるかは、毎回考えています。にほんごカフェでは、いろいろな話題が出て盛り上がりますが、カルタを持ってきて、遊びながら会話ができるというように、試行錯誤しながらやっています。



桑川 裕美さん

やさしい日本語 まちさんぽツアー



ツアーガイドが地域に住んでいる外国人と一緒に散歩しながら、市内の歴史やまちの魅力をやさしい日本語で伝えるまちさんぽの取り組みを紹介します。

問 社会教育課 (TEL 049・220・2088)

平成7年1月の阪神・淡路大震災では、日本人だけでなく、日本にいた多くの外国人も被害を受けました。その中には、日本語も英語も十分に理解できず、必要な情報を受け取ることができない人もいました。そこで、そうした人たちが災害発生時に適切な行動をとれるように考え出されたのが「やさしい日本語」です。

やさしい日本語とは、難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮した分かりやすい日本語のことです。現在は、災害時のみではなく、また外国人だけではなく子どもや高齢者、障がい者にも伝わりやすい言葉としてやさしい日本語が使われるようになり、全国的にさまざまな分野での取り組みが広がっています。

約3500人の外国人が在住しているふじみ野市では、今回紹介するまちさんぽツアーのほか、やさしい日本語による生活ガイドブックの作成などを行っています。

「やさしい日本語」とは

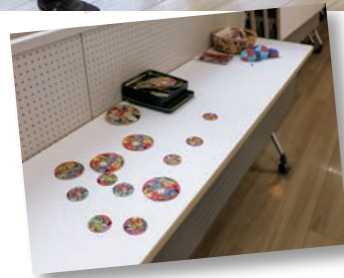
日本の子どもの遊び体験（ステラ・イースト）



▲全員が参加したコマ回し大会で入賞した笑顔の皆さん。最後に駄菓子を楽しみながら歓談しました。



▲歴史散策を満喫した後は、けん玉、コマ、お手玉、メンコなど日本の伝統遊びを体験しました。



外国人の皆さんへ お知らせ

次回まちさんぽツアー

防災館に行ってみよう
-じしん・かじのとき、どうする?-

日程 11月17日(日曜日)
場所 入間東部地区事務組合 消防本部防災館ほか(ふじみ野駅集合・解散予定)

にほんごカフェ

外国人と日本人が話をするにほんごカフェにあそびにきてください。

日時 毎月第3土曜日午後1時～3時
※8月17日は休みます。

場所 ステラ・イースト
※詳しくは市ホームページ
を見てください。



やさしい日本語版生活ガイドブック

市では生活ガイドブック
をやさしい日本語と7カ国
語で作っています。



参加した人にお話を聞きました

初めてまちさんぽツアーに参加して歴史や文化を教えてください。とても楽しかったです。日本では、部屋の賃貸契約やゴミの分別方法が難しいと感じています。これからは災害時に備えて日頃からどのような防災道具を用意したらよいか知りたいです。避難訓練にも参加してみたいです。



▲左から馬銘活さん、百熔さん(中国から来日)



▲左からユサルさん、ハルンさん、タウフィクさん(インドネシアから来日)、ズエンさん(ベトナムから来日)

こいのぼりや古い建物を訪ねるこのツアーは、外国人が参加したいと思う貴重な体験でした。もっとたくさんの方に知ってもらい参加してもらいたいです。

やさしい日本語まちさんぽツアーを開催しました

ことし4月のまちさんぽツアーの様子を紹介します。

スタート

参加者(ワールドフレンズとジャパニーズフレンズ※)が自己紹介していき出発!道中和やかな会話が繰り広げられました。



スケジュール 4/27(土)

まちさんぽツアー -こいのぼり・駄菓子・あそび-

13:00
ふじみ野市役所集合・出発
↓
13:20
新河岸川の河岸場跡で
こいのぼり見学
↓
13:45
福岡河岸記念館を見学
↓
15:00
ステラ・イーストで日本の
子どもの遊び・駄菓子体験



▲新河岸川の河岸場跡で大空にたなびくこいのぼりを見学。こいのぼりを飾ってくださったふじみんの郷のメンバーと記念撮影。ツアーガイドによる新河岸川舟運の歴史の説明に耳を傾けました。

福岡河岸記念館



▲福岡河岸記念館を見学。明治時代の商いや生活の様子をやさしい日本語で案内しました。ワールドフレンズは当時の生活の様子に興味を持って聞き入り、建物にこらされた意匠に感心しきりでした。



※まちさんぽツアーでは、在住外国人を「ワールドフレンズ(WF)」、日本人を「ジャパニーズフレンズ(JF)」と呼んでいます。